

## 保育所における感染対策の現状と看護職者の役割【要旨】

### Status of infection control in nursery and roles of nursery nurses in phylaxis

#### 【目的】

保育所における感染対策の現状と感染症に対する諸課題を明らかにし、保育所での感染防御・感染制御における看護職者の役割を明らかにする。

#### 【方法】

東北地方と長野県を除いた全国の保育所から 500 施設を無作為抽出し、管理責任者に依頼文、質問紙、返信用封筒を郵送した。

#### 【結果・考察】

有効回答は 243 通(48.6%)であった。予防接種に関し、母子手帳で予防接種状況の把握をしている割合が配置群で高く、定期接種と任意接種の情報提供を行っている施設が配置群で高かった。感染症制御に関し、嘔吐物処理時にマスクの装着と、次亜塩素酸ナトリウム溶液を使用する施設が配置群で有意に高かった。感染対策についての課題で未配置群の約半数が「医療機関との連携」を指摘し、実際に嘱託医と情報交換等の場を設けている配置群は 95.3%、未配置群は 75.9%であり、配置群の方が、連携が図れていることが推察された。さらに「感染対策についての知識が必要」を両群ともに約半数の施設が挙げた。看護職者が配置されていて良かった体験として「疾病時の対応や判断」「体調不良時の看病」を配置群の約 9 割が挙げ、看護職者の役割としてアセスメント能力と疾病への対応を期待していると考えられた。保護者への保健教育は、配置群で有意に高い実施状況であり、看護職者を配置することで子どものみならず保護者に対しても保健教育が実施されている現状を示唆するものである。

#### 【結論】

保育所の感染対策において看護職者が求められる役割として 1)予防接種の実施率の把握や情報提供などの感染予防活動、2)感染症発生時の感染拡大の阻止、3)嘱託医との連携が挙げられ、病児の保護や対応、保健教育も看護職者に求める役割として期待されていることが明らかとなった。保育所における感染対策の課題として 1)感染対策に関する知識・技術の向上、2)医療機関との連携の強化が挙げられ、これらに関する看護職者の関わりが期待される結果であった。